

板金製品加工関連（修了生メッセージ）

就職率
100%

意外と知ってる！？板金製品！！ 品は金属を使って製造されています。その中でも特に板金加工によって製造されている製品は意外と多く、家電製品や乗り物はもちろん建物や日用品など、とても多く利用されています。薄くて小さな部品を高精度に、また強度を保ちながら加工するためには、機械の性能もさることながら、高度な加工技術、溶接技術が必要です。

派手さはないですが、縁の下の力持ちで日本や世界中の人々の生活を支えています！！



(有)岸川製作所 製造部
村里さん
長崎明誠高校卒

平成 29 年度入社



現在の仕事

精密板金の溶接組立をしています。機械で加工された各部品を、仮組み、溶接、仕上げまでを図面を見ながら作業していきます。図面通りにできているか、外観や寸法公差内に抑える事が大事です。基本的に、1つの製品を1人で組み立てて作っていくのでやりがいを感じ、自分が関わった製品が電車や新幹線の部品や色んな工場の動力機械で使われたりしているので、充実感や達成感もあります。金属製の棚、箱などを街で見かけると、「これ、ウチでもできる！」と思う事もあり、実際に会社で必要なときに収納BOX等を作る事も楽しいです。

相談できる仲間ができた

溶接技術科を修了して役に立ったこと

溶接技術科を修了して役に立った事は、実際の仕事で必要な資格を取得できる事と図面の勉強があった事です。特に、CO₂溶接やTIG溶接の資格取得は、就職してからすぐに溶接をさせてもらえる様になり、仕事も楽しくなりました。また、僕の場合ですが仕事をする上で図面を見て物を作る仕事なので、勉強が必要でした。もっと基礎を理解していれば、と今思います。高技専での仲間も修了後に同じ様なジャンルの職種に就いているので、近況を話しあえたり、相談できたりする仲間が色々な会社にいることがよい事だと思います。

採用した事業所の声

未経験者と大きな差がある

板金加工というと聞き慣れない分野ですが、みなさんの生活に案外関わっており、コンビニやスーパーの食品を作る機械、電車の冷房や駅のホームにある柵など弊社の板金部品が使われております。世の中には薄い金属でできた物があふれておりますので、つくり出せるモノは限りないです。

現在、2名の修了生が溶接作業に従事しておりますが、高等技術専門校で基礎を学んでいる分、入社してからの活躍は高卒生や未経験者とは大きな差があります。

即戦力となり一生懸命仕事に取り組む姿勢を見ておりますので、今後も積極的な採用を考えております。

板金製品加工関連（作業風景）

1 プログラミング



図面を見て機械で製品をつくる為のプログラムをつくっていく作業です(CAD、CAM)。板金加工の司令塔の役割で最も重要な部分とも言えます。

2 ブランク工程



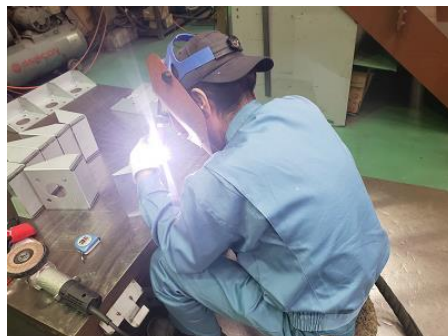
金属の板を切断する機械です。材料をセットしてプログラムを読み込むだけで自動で動きます。レーザー光線での切断や金型を用いて加工を行い、色んな形状に切断していきます。

3 曲げ



機械で切断し色々な形状になった金属板を立体的に折り曲げていきます。曲げる方向や数値に注意しながら作業を行います。

4 溶接組立



折り曲げた物や、その他の金属部品を溶接して組み合わせていき、一つの製品にしていきます。

5 検査



寸法や形状、キズ、金属の種類など図面通りにできているか、検査を行います。

6 後処理



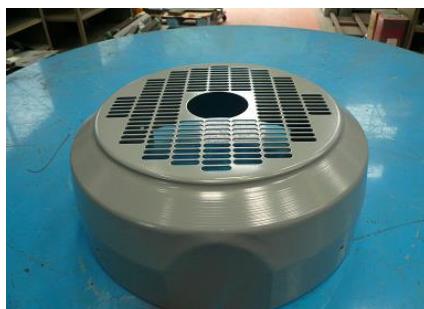
検査で合格した製品は後処理で塗装や、表面の油などをふき取り、梱包して完成となります。



7 完成品



↑ コンビニ等のおにぎりを作る機械のお米を投入する部分



↑ 電気を作る発電所や、色々な工場の動力源となるモーターカバー

日々、いろんな製品が作られ。出荷されていきます。

部品毎の製品なので、一見何かわかりませんが、日常生活の中で欠かせないモノになっていきます。